

研究・調査報告書

報告書番号	担当
193	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol and folate consumption and risk of benign proliferative epithelial disorders of the breast. アルコール、葉酸摂取量と乳房の良性上皮増殖疾患の危険性	
執筆者	
Cui Y, Page DL, Chlebowski RT, Beresford SA, Hendrix SL, Lane DS, Rohan TE.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Int J Cancer. 2007 Sep 15;121(6):1346-51.	
キーワード	
アルコール、葉酸、危険性、乳房の良性上皮増殖疾患、Women's health Initiative(女性の健康の第一歩)	
要 旨	
<p>背景：</p> <p>飲酒により乳がんの危険性は増加するが、適度の葉酸を摂取すれば、この危険性を低下させる可能性が示されている。しかし、乳癌の前駆となりうる乳房の良性上皮増殖疾患(BPEDs)と飲酒との関係はあまりよく分かっていない。</p> <p>方法：</p> <p>この関連を調べるため 68,132 人の閉経後の女性の無作為臨床治験である「Women's health Initiative」の参加者でコホート研究を行った。女性たちを前向きに追跡し、乳房の手術(外科的切開しての生検か経皮的針生検)をされたことがある者に関しては、中央病理センターで再評価した。1,792 人の乳房の BPED の女性を平均 7.8 年の追跡で確認した。Cox 比例ハザードモデルを用い、ハザード比(HR)と 95%信頼区間(CIs)を推定した。</p> <p>結果：</p> <p>非飲酒者に比べたところ、30g/日以上飲酒者は BPED の危険性と関連がなかった(HR=0.98, 95%CL=0.70, 1.38)。BPED の危険性は食事からの葉酸摂取(最も摂取量の多かった群に対し少なかった群を 4 分割して比べると、HR=1.10, 95%CL=0.96, 1.26)、サプリメントからの葉酸摂取(「はい」に対し「いいえ」は HR=1.05, 95%CL=0.96, 1.16)、全てを含めた葉酸摂取量(最も摂取量の多かった群に対し少なかった群を 4 分割して比べると HR=1.11, 95%CL=0.96, 1.27)と関連していなかった。その上、BPED のリスクに関しては、アルコールと葉酸の間に相互作用はなかった。</p> <p>結論としては、飲酒と葉酸摂取は BPED の危険性の変化には関連していなかった。また、BPED の危険性に関してはこの 2 者間には相互作用もなかった。</p>	